「象徴の責務果たす」

「即位後朝見の儀」でお言葉を述べられる天皇陛下と皇后さま＝1日午前11時15分、宮殿・松の間（代表撮影）

天皇陛下 初のお言葉

国事行為で「神器」継承

「剣璽等承継の儀」に臨まれる天皇陛下＝1日午前10時32分、宮殿・松の間（代表撮影）

天皇陛下は1日、皇后さまと共に皇居・宮殿「松の間」で、国事行為の「即位後朝見の儀」に臨み「憲法にのっとり、日本国および日本国民統合の象徴としての責務を果たすことを誓う」と、天皇として最初のお言葉を述べられた。

即位後朝見の儀には、安倍晋三首相ら三権の長をはじめ都道府県の知事や議長、市町村長の各代表らが参列。皇嗣秋篠宮ご夫妻ら女性も含めた成年皇族も同席した。

陛下は「自己の研鑽に励むとともに、常に国民を思い、国民に寄り添う」と決意を誓った。

朝見の儀に先立ち、陛下は松の間で国事行為の「剣璽等承継の儀」に臨んだ。即位後初めての儀式で、陛下は皇位のしるしとされる「三種の神器」のうち剣と璽（勾玉）を、国の印章の「国璽」と天皇の印の「御璽」とともに受け継いだ。皇位継承資格を有する男性皇族のみが参列し、前例に倣って女性皇族は同席しなかった。

剣璽について、政府は皇室経済法の「皇位とともに伝わるべき由緒ある物」との見解を示し、宗教性を否定している。

現行憲法や皇室典範には即位に伴う儀式の詳細な規定はなく、政府はいずれの儀式も平成への代替わりの例を踏襲した。

両儀式には、未成年皇族は儀式全般に出席しないとの慣例で秋篠宮家の長男悠仁さまは同席せず、退位した上皇さまも加わらなかった。

希望に満ちた時代に

福田富一知事の話　県民を代表して心からお祝いを申し上げる。令和の時代が希望に満ちた明るい時代となることを期待している。県としても、県民一人一人が夢や希望を持ち、それぞれの可能性を大きく開花させることができるよう、しっかりと取り組んでいく。

お断り　皇位継承に伴い、即位した新天皇陛下を「天皇陛下」「陛下」と表記し、新皇后雅子さまを「皇后さま」とします。ご夫妻の場合は「天皇、皇后両陛下」「両陛下」とします。前天皇陛下は「上皇さま」、前皇后美智子さまは「上皇后美智子さま」「美智子さま」とし、お二人の場合は「上皇ご夫妻」と表記します。

下野新聞
しもつけ
発行所　宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320－8686
下野新聞社
電話 028－625－1111
郵便振替口座 00180－1－623433
©下野新聞社2019
読者室 028－625－1179
（受付　月～金・午前10時～午後6時）
編集局 028－625－1121
販　売 028－625－1120（販売）
事業局 028－625－1134（事業・教育）
営業局 028－625－1133（広告）
下野新聞社ホームページ
https://www.shimotsuke.co.jp/

号外

下野新聞1週間無料お試しキャンペーン実施中！
試読・購読のお申し込みは
フリーダイヤル 0120-810081